

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	基礎ゼミⅡ						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	2		
必修・選択の別	必修						
担当者	井原 徹 津田和明・河上嘉人・依田浩敏・益田信也・小池 博・金子哲大・松本誠一・鶴野幸子						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築・デザインの多様な広がり理解し、そのための基礎的な能力の向上を図ることができる。(A6) ・コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の大切さを理解して活用できる。(A6) ・自主的・継続的な学習習慣の大切さを理解して、4年間の学生生活を計画し取り組むことができる。(A6) ・将来の専門家像(建築技術者・建築家・デザイナー)を視野に入れながら、各自の学習課題および就職計画に取り組むことができる。(A6) 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、「実施要領」を配布し、詳しい解説を行う。</p> <p>第2回：建築・デザイン学科とは 建築・デザイン学科のコース選択について、資格および就職について、履修計画の見直し</p> <p>第3回：グループ活動による課題研究1（教員A）</p> <p>第4回：同2</p> <p>第5回：同3</p> <p>第6回：同4</p> <p>第7回：グループ活動による課題研究1（教員B）</p> <p>第8回：同2</p> <p>第9回：同3</p> <p>第10回：同4</p> <p>第11回：グループ活動による課題研究1（教員C）</p> <p>第12回：同2</p> <p>第13回：同3</p> <p>第14回：同4</p> <p>第15回：まとめ、レポートの提出</p>						
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	100%	実技 部外評価 プレゼンテーション 計				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・建築・デザインの多様な広がり理解し、そのための基礎的な能力の向上を図ることができる。---100% ・コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の大切さを理解して活用できる。---100% ・自主的・継続的な学習習慣の大切さを理解して、4年間の学生生活を計画し取り組むことができる。---100% ・将来の専門家像(建築技術者・建築家・デザイナー)を視野に入れながら、各自の学習課題および就職計画に取り組むことができる。---100% 						
反省点	教員8名のうち3名の教員に配属されるが、より多くの教員と接して幅広く学習できることが望まれる						
来年度の計画	来年度より、本科目は科学的問題解決法とかわるので、基礎ゼミⅡは終了する。						
授業評価アンケートに対するコメント	レポート作成の方法や、文章作成の修館が少ないために、学生が戸惑うことも多い、今後は執筆方法、科学的な思考方法も含めて改善していきたい						
履修登録者数	68名	定期試験 受験者数	57名	合格者数	48名	合格率	84%